

6月7日 水無湿原の保全 ～NPO法人利賀飛翔の会との協働活動～

【富山森林管理署】

なんとしとがむらみずなし
令和8年6月7日（日）に南砺市利賀村水無国有林において、NPO法人利賀飛翔の会による水無湿原の保全活動が行われました。

この保全活動は、平成16年に水無湿性植物希少個体群落保護林に指定された水無湿原において、ミズバショウやヤマトリカブト等の湿地性植物の減少が見られたことをきっかけとして、保全活動や観察会等を実施し、平成17年から湿原周辺の笹の刈払い等を行う保全活動を実施しています。

平成26年には、水無湿原のミズバショウがイノシシによる踏み荒らし・掘り起こし被害を受けたことから、平成28年に水無湿原イノシシ等被害防止対策検討会が開催され、平成29年にイノシシ対策としてワイヤーメッシュの試験設置を実施しました。



ワイヤーメッシュ敷設作業

平成30年からは、イノシシによる踏み荒らし・掘り起こし対策としてミズバショウなどの湿性植物を保全するため、ワイヤーメッシュの敷設作業を継続して実施しています。

ワイヤーメッシュを敷設してきた場所では、この間イノシシによる踏み荒らしや掘り起こしの被害が見られず、一定の効果が認められていることから、今年の活動をもってワイヤーメッシュの敷設作業は終了します。

なお、笹の刈払いや水路の確保の保全活動は継続し、ワイヤーメッシュ敷設箇所も引き続き経過観察を行っていくこととしています。



水路確保作業

当署としても、NPO法人利賀飛翔の会と協働しながら保全活動を支援し、この希少な湿原の豊かな自然環境を将来へ引き継ぐため今後も保全活動の取組を進めていきます。

水無湿原の見どころ

水無国有林内には、ミズバショウ、リュウキンカ、バイケイソウ、カタクリ、ヤマトリカブト等が群生する湿原があります。

周囲は、林齢100年を超えるブナの天然林となっています。



水無湿原のミズバショウ



中部の保護林（第35回）に掲載